

「観光統計を活用した実証分析に関する論文」受賞論文内容

長官賞

【受賞者】地域観光マネジメントグループ(グループ応募:3名)

平井 健二・吉野 大介/復建調査設計株式会社

小池 淳司/鳥取大学大学院工学研究科准教授

【主 題】宿泊旅行統計を活用した観光施策評価手法の適用可能性に関する分析
～ソフト施策を対象としたケーススタディ～

【内 容】包絡分析法 (DEA・Data Envelopment Analysis) を用いて、都道府県の観光特性や施策実施状況等を踏まえ、観光施策の相対分析し、施策の評価方法論及び改善案を提案した研究。評価が曖昧になりがちな観光施策に関し、どのような地域にどのような施策を展開すべきかということを示している。

審査委員会奨励賞

【受賞者】矢部 直人/首都大学東京 都市環境学部 自然・文化ツーリズムコース 助教

【主 題】都道府県間流動データによる国内宿泊旅行圏の設定と休暇分散効果の検証

【内 容】都道府県間宿泊旅行流動データに対して、グラフ・クラスタリング手法を用い、旅行圏の設定と休暇分散効果の検討を行った研究。従来、時間的な需要の分散化効果を中心に検討されてきた休暇分散化に関し、空間的効果の視点から検討を試みている。

審査委員会奨励賞

【受賞者】平井 貴幸/東京国際大学大学院経済学研究科博士後期課程

【主 題】国際観光テーマ地区の外客誘致パフォーマンス

— DEAによる計測とその評価 —

【内 容】包絡分析法 (DEA・Data Envelopment Analysis) を用いて、訪日外客誘致の効果を相対的に評価する方法に関する研究であり、効率性の評価方法の提案をしている。訪日外客誘致効果と訪日外国人客数の関係、各地区にとって重要度の高い外国人の国籍を定量的に検証している。